



第444号

2024年5月

〒461-0004 名古屋市東区葵2丁目6-35 カトリック名古屋教区広報部 電話 (052) 935-2223 FAX (052) 935-2254 news@nagoya.catholic.jp 印刷所 株式会社 荒川印刷 毎月第1日曜日発行

教区設立100年後の課題

AGIFTを告げに出ていこう！ 次世代に信仰をいかにつなぐか？ 「隔ての壁」を壊し「新しい人」になろう

教区ホームページ

福音のひびき

5月の説教者

- 5日 復活節第6主日 プルム・アーノルド (瑞浪教会)
12日 主の昇天 スサント・プリヨ (江南教会)
19日 聖霊降臨の主日 品田 豊 (神言修道会)
26日 三位一体の主日 ピリヤコルタ・ジョナサン・レイ・オリベロス (神言修道会)

聖香油ミサとダイヤモンド・金・銀祝

数日続いた雨降りから打って変わった晴天の下、布池教会司教座聖堂で、聖水曜日当たる3月27日に聖香油のミサが執り行なわれ、その中で朗読

徒の皆さんも、1人1人が頂いたお恵みを確認し、共にこのミサの中で祈っていきましょう。」全員で栄光の賛歌を歌った後、教区神学生近藤真理生さんの朗読奉仕者選任式があった。近藤神学生は、松浦司教から、み言葉を正しく伝え、人々に豊かな恵みをもたらすようにと、祝福と奉仕者の役割の言葉を授け、聖書が授けられた。そしてこの後の第一朗読は近藤神学生によって、読まれた。

又福音朗読の後には終身助祭候補者で現在準備中の秋元伸介さん(南山教会)の祭壇奉仕者選任式があった。秋元さんは、松浦司教から教会共同体に忠実に奉仕できるように、祝福の祈りを受け、パンを授けられた。

この後、「司祭の約束の更新」が行われた。松浦司教は教区各所から集まった大勢の司祭たちに向かい、司祭の約束を1つ1つの問い掛け、司祭団はそれに一致して力強く答えた。そして参列している信徒たちに司祭のために祈ってくださるよう

ミサの後、地下ホールではコロナ禍で中止されていた祝賀会が4年振りに行われた。お祝いの言葉を掛けたり、記念写真を撮るだけでなく、久しぶりに会う人々との懐かしくも楽しい交流の輪があちこちででき、時がたつのを忘れていつまでもにぎわっていた。

司祭の叙階、および修道者の奉獻生活誓願のダイヤモンド・金・銀のお祝いを受けた方々から寄せられたメッセージの要約、又は印象的な部分を取上げて紹介します。

司祭の叙階、おめでとうも残念に感じているが、今は別の形でいろいろな小教区や修道院、カトリック学校や施設を訪問できるので、それはそれでとても嬉しいことです。どこに行っても自分の担当する小教区のような親しみを感じられるようになってきました。もちろん、立場、責任の重さにたじろいだり、将来について悩んだりもしますが、それ以上に励まされていることが多く、本当に恵まれていると実感しています。

大阪教区で補佐司教として約15年、名古屋に来てからアツという間に10年目に入ってしまった。はじめは司教になると、小教区から離れるの



聖香油を祝別する松浦司教

ダイヤモンド・金・銀祝の方からのメッセージ

司教・司祭の叙階、および修道者の奉獻生活誓願のダイヤモンド・金・銀のお祝いを受けた方々から寄せられたメッセージの要約、又は印象的な部分を取上げて紹介します。

司教叙階

(名古屋教区)

大阪教区で補佐司教として約15年、名古屋に来てからアツという間に10年目に入ってしまった。はじめは司教になると、小教区から離れるの

私が出会ったすべての人々の温かい励ましとお祈りの賜物だと思い、心から感謝しています。

司祭叙階 (名古屋教区) 野村純一(名司教)

この原稿を書くこととしてまず思い出したのは、叙階式当日のことでした。ローマのプロバガンダ神学院の聖堂で50ヶ国余の出身の67名の仲間と共にアガジヤニアン枢機卿から叙階の秘跡を受けました。枢機卿は大勢にもかわらず、ただ一人を叙階するかのよう一人一人を丁寧に、式を行ってくださいました。

神学生時代に叙階が近づいた先輩たちが、新司祭と呼ばれている間は良いが、新米司祭(不慣れで、頼りにならない司祭)と呼ばれるようになったら駄目だ、と互いに行っていました。またある教会の香部屋に、今日のミサを生産で最初で最後のミサだと思っって捧げましょう、と書いてあったのが心に残っています。

司祭ダイヤモンド祝 (名古屋教区) 岩崎二三(神父)

当時の神学生が受けた大きな恵みは、第二バチカン公会議で宣言された「神の民である教会共同体」でした。人類社会の歴史のただ中で、喜びと希望の福音に立ち返り、主イエスのうちに留まるあり方の再発見でした。牧者としての50年の旅で三つのことが思い出されます。①教えるより学ぶこと。②1人でしないで2、3人と。③「される」

司祭叙階 (神言修道会) 大海明敏(神父)

私が司祭を目指して神言会の門を叩いたのは、1990年春の頃だったと思います。なぜ修道生活を選んだのかという問い、やはり神様から「呼ばれた」としか言えませんでした。

修道共同生活において私は自分の最も深い傷を見つけ出し、それを自分のものとして認めることをたくさん学びました。その時こそ私の人生が始まり、真にこの傷から私は生まれるのだと思えます。今、私の中には神さまの救いと愛が残っていないと思います。

司祭叙階 (コンベンツアル聖フランシスコ修道会) 北向修一(神父)

瀬戸教会と春日井教会に関わり、それぞれ11年間・11年目という年月を過ごしました。

まさか銀祝の期間25年間のほとんどを、この名古屋教区で過ごすことになるうとは思いませんでしたが、振り返って見ればあつという間でした。

これからも、神様の導きに従い、教区と信徒の皆様には活動ができませんように、お祈り下されば幸いです。

(3ページに続く)



ダイヤモンド祝を受ける野村名譽司教

2024年 世界祈禱日 心を一つに世界平和を祈念

3月1日(金)に、今年「世界祈禱日」が日本福音ルーテル名古屋めぐみ教会で行われた。今年、祈りと献金で支援する先はパレスチナであった。共有する祈りの式文は、2021年から22年にパレスチナの女性たちによって作成されたもので、その後、かの国が最悪の状態に激変してしまいったが、当時の彼女たちの思いを尊重してあえて作り変えず、しかもこの時期にパレスチナ支援となった神の計らいを重く受け留めながら、参加させてもらった。

福音書の朗読はヨハネ15章12、13、17節で、牧師はイエスのみ言葉に基づいて、愛と平和を熱く説教した。イスラエル、パレスチナの建国の歴史や各々のおかれた立場から話し始め、愛するものを見失う痛みを知るイスラエルだからこそ、パレスチナと共に生き、働く道を見出し、平和を意図した。神からの平和を意味するシャロームには、完成する、全うするといふ内容が込められていて、キリスト者は「平和を築くことに力を惜しんではならない」という結びの言葉が心に残った。

「世界祈禱日」は、1887年にアメリカのキリスト教徒の女性たちが移住者や抑圧されている人々に救いの手を差し伸べたことから始まり、二度の世界大戦を経て、地球規模の運動として発展した。今日では、世界的なネットワークとして毎年3月の第一金曜日を中心に、定められた一つの国、特に女性や子どもたちのために共通の祈りを捧げ、献金をしている。日本では東京都新宿区に「日本キリスト教協議会女性委員会」として事務所を置き、名古屋地区ではカトリック教会・日本聖公会・日本福音ルーテル教会・日本基督教団・在日大韓基督教会・救世軍の六会派が加入し、持ち回りで準備し実践している。今年もルーテル名古屋めぐみ教会が担当したが、祭壇にパレスチナを象徴するオリブや柑橋類、それにサボテン、ポピー、ジャズミンなどが飾られ、行き届いた準備に感動した。当日は120人が集い、その中でカトリックは26名の出席であった。また、献金は161,250円と報告された。



修女連総会

名古屋教区女子修道会在俗会連盟の総会が、教区センター2階会議室で、さる3月9日に開催された。参加者15人で、シスター速水智恵美会長(聖霊会)の挨拶と祈りが開会した。

総会に先立って、松浦悟郎司教の挨拶と当日の講話のテーマの説明があり、「シノドスの祈り」が唱えられた。

松浦司教は、先日参加した「日本シノドスの集い」について話し、「シノダリティ」と「ともに歩む教会」の言葉を聞いて、どのように思い、受け止めたかの提言を基に、小グループで「霊における会話」のうちに分かち合い、まとめ、それぞれ発表した。

総会は、速水会長から2023年度の活動報告、会計の成田友子さん(聖マリア在俗会)より会計報告があった。検討事項の中で、来年度の活動を会員のみの参加ではなく、信徒や一般の方々にも呼び掛け、シノダリティ・ともに歩む教会の実践を目指そうと参加者一同、同じ思いの中に総会を終えた。

尚、2024年度は役員の変更はなく、全ての役員は継続となった。(名古屋教区女子修道会在俗会連盟)

名古屋教区カトリック女性の会 「樹の会」第17回総会・講演会ご案内

《総会》
日時 5月18日(土) 13:30~14:15 (受付:13:00)
場所 カトリック膳棚教会パウロ館 (名古屋市瑞穂区膳棚町1-26) (地下鉄桜通線 瑞穂運動場西下車 ①番出口徒歩数分)

《講演会》
日時 5月18日(土) 14:30~15:30
場所 カトリック膳棚教会パウロ館
講師 山野聖嗣 (カトリック港教会) テーマ 「旧約聖書」
連絡先 「樹の会」事務局 (090-7024-9626 金森)

さて、来年の「祈禱日」は2025年3月7日、カトリックが担当教派となっている。支援先等は未だ発表されていないが、世界に真の愛と平和を運ぶ人となれるよう、皆様と力を合わせて、祈り、準備していききたいと思っている。

(信徒協「世界祈禱日」窓口担当、金森タイ)

(ダイヤモンド・金・銀祝の方からのメッセージ 続き)

修道者金祝

Sr.金光英子

【聖霊奉侍布教修道女会】
戦中の昭和18年、わたしは三重県伊勢の地に兄弟6番目としての生命をいただきました。
小学4年生の頃、戦禍で司祭への道を断念した長兄のことは「ただ神に感謝しなさい」「自分の大切なものを神に捧げよ」があり、この言葉の意味と心の促しを感じるようになっていた。わたしにとって大切なものは故郷であり家族でした。我が家を旅立つて以来、修道者として未熟なまま、神様と沢山の方々からいただいた恵みに充分応えられないことを恥じつつ、イエス様と出会った信仰の喜びを多くの方々と分かち合っていました。いつか思っています。

修道者銀祝

Sr.梅村祥子

【聖霊奉侍布教修道女会】
わたしは神様からいただいた使命を本心に果たしているのか自分に問いかけています。
洗礼を受けた時に出会った聖書の言葉、「見よ、わたしはあなたと共にいる。あなたがどこへ行っても、わたしはあなたを守り、あなたに約束してきたことを果たすまで決して見捨てない」(創28・15)この言葉にいつも励まされてきました。

修道者金祝

Sr.村上多美代

【聖霊奉侍布教修道女会】
1963年、建設されてまだ新しい布池教会で洗礼を受けました。
いつも、わたしの心に浮かぶ言葉は「なすべきことはただ一つ、うしろのものを忘れ、前のものに全身を向けつつ、キリスト・イエスにおいて上に召してくださる神の賞を得るために、目標を指してひたすら走ること(フィリ3・12~14)です。
現在は、東日本大震災で事故を起こした福島第一原発から25キロにあるカリタス南相馬で長期ボランティアとして奉仕しています。元気なうちはこの土地で日々出会う人々の中に福音の種を蒔き続けていきたいと思っております。



ラビンスメディテーションへのおさそい

ラビンスは普通円形で、外周と中心をつなぐ曲がりくねった一本道が内部に描かれています。迷路はたくさんの枝分かれした道があり、人に選択を迫ります。ラビンスは一本道です。ラビンスは人を中心に導き、再び外に戻させます。ラビンスを歩きながらたどる瞑想のプロセスに参加してみませんか?

ラビンス メディテーションのプログラム

1. その日の福音書を読む
2. 初めてラビンスを歩く方には ラビンスの説明
3. 各自 自分のテーマをもって自由にラビンスを歩く
4. 感じたことの分かち合い

日常を離れ、静かに祈り、分かち合いたい方、どなたでも参加できます。
申し込みは必要ありません。

2024年-2025年ラビンスメディテーション予定
原則として第4土曜日 4月・12月は第3土曜日

	月日		月日
1	4月20日(第3土曜日)	7	10月26日
2	5月25日	8	11月23日 勤労感謝の日
3	6月22日	9	12月21日(第3土曜日)
4	7月27日	10	1月25日
5	8月お休み	11	2月22日
6	9月28日	12	3月22日

時間 13:30~16:30
場所 聖霊ミッションセンター (旧八事聖霊幼稚園)
〒466-0825 名古屋市昭和区八事本町1番地
地下鉄名城線八事日赤駅1番出口を出て右方へ、すぐの角を右折、次の角も右折。信号を左折し修道院正門へ徒歩5分
問合せ TEL 052-832-0434 八事聖霊修道院
参加費 200円



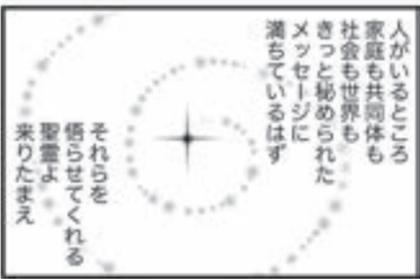
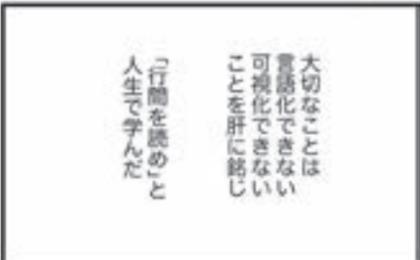
クリスマス献金のお礼と報告

待降節よりお願いいたしました「クリスマス献金」は、次のように集計されましたので、支援先と共に報告します。2023年度は教会・修道会・病院・幼稚園・個人の方々より28件957,961円(振込手数料等引き去り後金額)をいただきました。

ご協力、ありがとうございました。
支援をさせていただいたのは下記の団体です。

支援先	支援金(単位円)
福音館・炊き出し部	268,086
福音館建設	28,724
岐阜ダルク	76,597
名古屋ダルク	57,448
三河ダルク	57,448
リカバリーセンターフェロー・名古屋マック	57,448
NPO 法人セカンドハーベスト名古屋	181,918
RASA ジャパン	57,448
愛知聖ルカセンター・国際こども学校を支援する会	57,448
いこいの家	57,448
名古屋教区・外国人生活困窮者支援シェルター	57,948
合計	957,961

名古屋教区カリタス福祉委員会
〒466-0037 名古屋市昭和区恵方町2-15
電話 052-852-1426
Fax 052-852-1422



5月の教会暦
 2日(木) 聖アタナシオ司教教会博士(記)
 3日(金) 聖フィリポ 聖ヤコブ使徒(祝)
 5日(日) 復活節第6主日
 世界広報の日(献金)
 12日(日) 主の昇天(祭)
 14日(火) 聖マリア使徒(祝)
 19日(日) 聖霊降臨の主日(祭)
 20日(月) 教会の母聖マリア(記)
 26日(日) 三位一体の主日(祭)
 31日(金) 聖母の訪問(祝)
6月の主な教会暦(主日・祭日など)
 2日(日) キリストの聖体(祭)
 7日(金) イエスの心(祭)
 9日(日) 年間第10主日
 16日(日) 年間第11主日
 23日(日) 年間第12主日
 聖ペトロ使徒座への献金
 24日(月) 洗礼者聖ヨハネの誕生(祭)
 29日(土) 聖パウロ使徒(祭)
 30日(日) 年間第13主日

教区行事予定 (* 松浦司教)
 5日(日) 城東B会議/瑞浪教会堅信式*
 11日(土) 宣教師牧評議会「運営委」* / 典礼委員会コアミーティング / 殉教者委定例会 / 信徒協役員会
 15日(土) 樹の会「絵画」 / レジオ・マリエ「名古屋クリア」 / 正義と平和委定例会 / 布池教会堅信式* / 一粒会「委員総会」(布池教会) / カトリック看護協会例会 / 月集・顧問会*
 18日(日) 樹の会「総会」 / レジオ・マリエ「名古屋クリア」 / 正義と平和委定例会 / 布池教会堅信式* / 一粒会「委員総会」(布池教会) / カトリック看護協会例会 / 月集・顧問会*
 21日(火) 愛岐B「兄弟の集い」 / 五反城教会堅信式*
 23日(木) 能登視察*
 25日(土) 教区法人評議員会* / 聖心布教会 司祭叙階式*
 26日(日) 愛岐B「兄弟の集い」 / 五反城教会堅信式*
 29日(水) 能登視察*
 30日(木) のとサポート会議(金沢)*
 1日(土) 信徒協役員会
 2日(日) 宣教師牧評議会*
 8日(土) 典礼委員会コアミーティング / 殉教者委定例会 / 信徒使徒職大会*
 9日(日) 港教会献堂60周年記念ミサと堅信式*
 11日(火) 樹の会 / 正義と平和委定例会
 12日(水) カリタス福祉委員会
 13日(木) 松浦司教着座記念日
 15日(土) レジオ・マリエ「名古屋クリア」黙想会
 16日(日) 愛岐B会議
 18日(火) カトリック看護協会例会
 20日(木) 司祭・助祭研修会*
 22日(土) 濃尾B会議
 23日(日) 守山教会堅信式*
 26日(水) 能登視察、のとサポート会議*
 27日(木) 司祭評議会*
 30日(日) 一粒会の集い(東海地区 南山教会)*

聖ペトロ使徒座への献金
 聖ペトロ 聖パウロ使徒の祭日または直前の日曜日
 教皇は毎年、世界各地を司牧訪問します。そして、人々の苦しみや悩みを聞き、優しい笑顔で力づけ、数々の援助を与えます。キリストの代理者、教会の最高牧者である教皇は、祈りと具体的な援助を通して全世界の人々にいつも寄り添っているのです。この教皇に心を合わせて、わたしたちも世界中の苦しんでいる人々のために祈りと献金をさげます。
 教皇のこうした活動のために充てられる聖ペトロ使徒座への献金は、8世紀ごろイギリスで始まった、大人も子どもいちばん小さなお金である1ペニーを毎年教皇に献金する運動がもとになって世界中に広まったものです。

告知板
 ◇5月の炊き出し
 木2日布池、9日ひまわり・南山・樹の会、16日聖霊・南山・樹の会、23日城北橋、30日一宮
 金3日喜望の会、10日長浦、17日布池、24日南山、31日恵方町
教区行事以外の松浦司教予定
 9日(木) 常任司教委員会 / 日本カトリック神学院開校式
 13日(月) 17日(金) 司祭養成委員会研修のため フィリピン下見
6月
 6日(木) 常任司教委員会
 17日(月) 18日(火) 終身助祭委員会(名古屋)
 27日(木) 28日(金) 全国カトリック学校 校長・教頭合同研修会

建設費の返済に協力を
 668件 35,573,214円
 目標額 40,000,000円 (3月末現在)
 達成率 約88.9%
 郵便振替 00810-5-50605
 加入者名 カトリック名古屋教区
 通信欄に「福音館建設」と必ずご記入ください。

望月衣塑子さん講演会
 日時 5月18日(土) 開演13:30 (開場13:00)
 テーマ 今伝えたい本当のこと
 場所 せきれいホール (岡崎市朝日町3丁目25-0511)
 前売り700円 当日1000円
 障がい者・学生の方は無料
 せきれいホールでもチケット販売中
 主催 おかざき九条の会 (岡崎市竜美西2-1-12 弁護士法人リブレ内)
 問合せ ☎090-9172-4448 神谷 (かみに)

子どもとともに捧げる名古屋教区インターナショナルミサ
 ~よりよい未来のために~
 日時 5月12日(日) 14:00~
 場所 カトリック南山教会 昭和区南山町1 地下鉄いりなか駅下車 杖中交差点を南へ5分
 司式 松浦悟郎司教
 主催 難民移住移動者委員会
 共催 教会学校教師会
 連絡先 難民移住移動者委員会 ☎052-953-9480
 ミサ後、南山教会信徒会館 マリア館ホールで持ち寄りパーティーがあります。

出前 聖書 講座
【旧約聖書から学ぶキリスト教霊性】
 ーキリストの十字架の恵みをより 味わうためにー
 志村武神父様(カルメル修道会)が日比野教会で開催される講座に再び、八事聖霊ミッションセンターで与ることが出来ます。
 「出前講座」と称し、豊かなキリスト教の霊性を届けていただきます。
 どなたでもご参加いただけます。
 2024年-2025年度 年間開講予定日と詳細は、下記の通りです。
 但し8月は休講します。
 5月10日(金) 10月8日(火) 2025年1月31日(金)
 6月25日(火) 11月26日(火) 2025年2月28日(金)
 7月12日(金) 12月10日(火) 2025年3月28日(金)
 9月10日(火)
 講師 志村 武神父 日比野教会 主任司祭(カルメル修道会 会員)
 時間 13:30~16:00
 持参するもの 聖書(旧約・新約)お持ちでない方には、お貸ししています。
 参加費 自由献金
 会場 聖霊ミッションセンター(旧 聖霊幼稚園) 〒466-0825 名古屋市長和区八事本町1番地 聖霊修道院 ☎052-832-0434 (代)
 担当係 速水 智恵美(聖霊奉侍布教修道女会 会員)

【カルメル修道会日比野修道院、黙想企画】
【旧約聖書から学ぶキリスト教霊性】
 日時 5月18日(土) 14:30~16:30
 テーマ 士師記の全体構造とメッセージ
 持ち物 必ず聖書(旧約+新約)をご持参ください。
 場所 カルメル会日比野修道院(日比野教会)、参加費無料
 どなたでもご自由にご参加下さい。
 担当 志村武神父(カルメル修道会)
 問合せ 日比野修道院(052-671-1003)
 以降の予定 6月22日(土)、7月20日(土)、9月21日(土)、10月19日(土)
【静修の集い】
 日時 6月29日(土) 10:00~15:00
 テーマ アビラの聖テレジアの祈り
 講話担当 今泉健神父(カルメル修道会)
 スケジュール 講話①、ご聖体顕示、昼食、講話②、ミサ、茶話会
 参加費 無料(自由献金をお願いいたします)。どなたでもご自由にご参加ください。
 持ち物 昼食(各自持参)、聖書(旧約+新約)
 問合せ 日比野修道院(052-671-1003)

サダナ ~神への道~
【入門コース】
 聖イグナチオの霊性を基に、「心と知性の静けさ」「神様との個人的な触れ合い」を体験します。
 日時 入門A 5月12日(日) 9:30~17:00
 入門B 6月9日(日) 9:30~17:00
 入門C 7月7日(日) 9:30~17:00
 場所 聖霊会 八事修道院 ミッションセンター 名古屋市昭和区八事本町1番地 (駐車可)
 指導 うえぐりわたる 植栗 彌 神父(イエズス会)
 問合せ 攪上 暁子 メール ngosdn@gmail.com ☎050-7108-7410
 参加者喜びの声 右QRコードよりご覧ください。
〈2024年度の予定〉
 ■リピーターの会(入門ABCサダナ1経験者のみ) 以下AとBは別内容。いずれかだけでも参加可能。
 A 11月2日(土)、B 11月3日(日)
 ■フォローアップ(入門ABCサダナ1経験者のみ) 11月4日(月・振休)
 ■サダナ2(入門ABCまたはサダナ1経験者のみ) 4日間すべて参加可能な方のみ。部分参加は不可。
 2025年1月25日(土)・26日(日) 2月1日(土)・2日(日)